

# 北海道アウトドアフォーラム 2019

～参加の手引き～

この度は国立日高青少年自然の家主催事業にご参加いただき、ありがとうございます。当日までの確認・連絡事項を記載いたしますので、内容をご確認のうえ準備をお願いします。

## プログラム

Day 1												受付	会場準備	基調講演	事務連絡	写真撮影	移動	プレゼンテーション 2会場		夕食	入浴 会場準備	情報交換会 ①
Day 2	朝活 プログラム ①	朝食	選択 ワークショップ ①	移動	選択 ワークショップ ②		昼食		選択 ワークショップ ③	移動	選択 ワークショップ ④	自由 交流		夕食	入浴 会場準備	情報交換会 ②						
Day 3	朝活 プログラム ②	朝食	移動	選択 ワークショップ ⑤	移動	全体 ワークショップ	閉会															

- 受付開始 10月29日（火） 12：00 場所：国立日高青少年自然の家 玄関ホール  
 ※30日（水）日帰り受付 08:30～08:50  
 31日（木）日帰り受付 08:30～09:00
- 開 場 同 12：00 ※展示会場も 12:00 に開場します。
- 開 会 同 13：00 ※5 分前までに会場にお入りください。
- 閉 会 10月31日（木） 12：30 ※時間は多少前後する場合があります。

## 参加申込み・ワークショップ選択希望

選択ワークショップについては、参加申込と同時に選択希望を受け付け、定員に達した内容から締め切ります。7 ページ以降の発表要旨をお読みになり、ウェブサイトの申込フォームにて選択してください。

**参加申込・選択期限 10/25（金）まで**

URL：<https://www.niye.go.jp/entry/app/event/apply/2538/>

※ 期限を過ぎると申込フォームからは選択できません。

※ 期限以降のワークショップの選択は、空き状況に応じて当日受け付けます。

## 費用

参加費は以下のとおりです。当日受付にて現金でお支払いください。

項目	金額	備考
参加費（全日程）	6,500 円	食事5食（29日夕食～31日朝食）を含む
参加費（1泊のみ）	5,000 円	初日昼食～2日目昼食のうちの食事3食を含む
参加費（日帰りのみ）	3,000 円	食事なし
情報交換会費（29日）	1,000 円	飲み物、おつまみ ※自由参加
情報交換会費（30日）	1,000 円	飲み物、おつまみ ※自由参加

※ お子様は食事・シーツ代のみ、3歳以下は食事代不要

## キャンセル

参加キャンセルの連絡は早めをお願いします。**10月26日（土）0:00**以降のキャンセルについては、キャンセル料がかかります（食事代・保険代等）。キャンセル連絡時に金額を確認し、現金書留で下記住所までお送りください。

連絡先：（01457）6-2311 担当：横山、谷崎、花岡

送付先：〒055-2315 北海道沙流郡日高町字富岡 国立日高青少年自然の家

## 持ち物

チェック	全 員	
	参加の手引き	この資料です。
	上靴（上履き）	ケガ防止や緊急時避難のため、館内では上靴の着用をお願いします。
	洗面用具	ボディソープ、リンスインシャンプーは備え付けがあります。
	着替え・タオル	タオルの備え付け、貸出はありません。
	防寒着	館内でも場所や時間帯によっては寒いことがあります。ひざ掛けやフリースなどをご持参ください。
	保険証	コピーでも可能です。
	筆記用具	
	名刺	情報交換会での配布用に、多めにお持ちください。
	参加費	<b>お釣りのないようにご準備ください。</b>
チェック	体験型のワークショップにご参加される方	
	野外で活動できる服装	帽子、手袋（軍手可）、レインウェア、防寒着（フリース、ダウン、ニット帽など）、運動靴 ※汚れてもよい動きやすい服装で

## 情報コーナーについて

プレイホール（メイン会場）に、資料設置スペースおよび情報掲示板を設けます。団体や活動内容についての紹介資料や、講座・イベント情報、人材募集等の告知資料があればお持ちください。事前申し込みは必要ありません。なお、会場での販売行為はできませんのでご了承ください。

## 情報交換会

参加される場合、会費として別途 29 日 1,000 円、30 日 1,000 円を徴収します。参加費と合わせて、受付にてお支払いください。おつまみと飲み物（アルコール類、ソフトドリンク等）をご用意します。各地の名産品（飲み物や二次会用のおつまみ等）の差し入れも歓迎します。

また、30 日は野外でのたき火 Bar を予定しています。

## 朝活プログラム **New!**

会場にて実施者を募り、①30 日 7:00～8:00 ②31 日 7:00～8:00 に自由参加のプログラムを実施します。ワークショップのエントリーに間に合わなかった方、気軽な場で発表してみたい方、当日の思い付きなど、テーマはなんでも OK！ 前日の情報交換会にて告知を行いますので、実施希望の方はそれまでに情報掲示板に掲示をお願いします。

## 個人情報の取り扱い

お申し込みの際にいただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき、適切に管理し、本自然の家に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて、第三者に開示することはありません。

また、本事業中に撮影した写真や映像は、当機構の事業報告や広報資料、ホームページ等に掲載することがありますのでご了承ください。

## 前泊について

遠方の方は 10/28（月）の前泊が可能です。食事の提供はございませんので各自で準備していただきますようお願いいたします。

前泊を希望する方は申込時に備考欄へ記載いただくか、10/25（金）までに事務局へご連絡ください。

電話：01457-6-2311 メール：[hidaka-hp@niye.go.jp](mailto:hidaka-hp@niye.go.jp)（担当：横山、谷崎、花岡）

## 交通

<公共交通> 占冠駅から送迎バスまたは日高町営バス利用（終点日高総合支所から徒歩 15 分）

<送迎バス> 占冠駅から下記の便に合わせて送迎バスを運行します。

※申込受付時に希望者がいない場合は運行しません。

【行き】 12:30 占冠駅発 12:55 自然の家着

- ・札幌方面から 10:24 札幌発 11:57 占冠着 特急スーパーとがち 3号帯広行
- ・帯広方面から 11:10 帯広発 12:26 占冠着 特急スーパーとがち 6号札幌行

【帰り】 14:00 自然の家発 14:30 占冠駅着 15:00 トマム駅着

- ・札幌方面へ 14:47 占冠駅発 16:18 札幌着 特急スーパーおおぞら 8号札幌行
- ・帯広方面へ 16:00 トマム発 16:57 帯広着 特急スーパーおおぞら 7号釧路行

※それ以外の時間帯は日高町営バスまたは日高ハイヤーをご利用ください。

<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/site/busjikoku/hidakamonbetsu.html>

日高ハイヤー 01457-6-7107

<自家用車> 道東自動車道占冠 IC から約 16km

<駐車場> 自家用車は利用者駐車場に駐車してください。正面玄関前ロータリーは、乗降や荷物の積み下ろしのための一時的な停車のみでお願いします。

## <会場案内図>



## 発表者&発表要旨

### ○特別講演（60分）

テーマ	ヒグマのこと知っていますか？野外活動の安全のために
講師	間野 勉 北海道立総合研究機構 環境科学研究センター
紹介文	北海道で野外活動する人の頭の隅にあるのがヒグマの存在ではないかと思います。語り継がれる凄惨な人身被害を知れば知るほど、平静な気持ちではいられなくなるかもしれません。 皆さんは、ヒグマについて何か具体的な経験はありますか？ また、ヒグマのことをどれだけ知っていますか？ クマとはどんな動物なのか、彼らは何を求めて行動しているのか、どのようにして不幸な被害に至るのか、それを避けるには。講演を通じ相手を知ること、恐れるだけでなくクマとの不幸な出会いを避ける知恵を身につけていただければと思います。

### ○プレゼンテーション（10分×16タイトル ※サンゴの家・大研修室）

時間/会場		I（会場：サンゴの家）	II（会場：大研修室）
①15:15 ～15:25	タイトル	SDGs はすっごくでっかいゴール！	北海道アウトドアフォーラム発！ 連携、連携、そして連携
	発表者	溝淵清彦 環境省北海道環境パートナーシップオフィス	鈴木悠太 旭川市旭山動物園
②15:30 ～15:40	タイトル	サーキットの隣で、 森の元気と子どもの元気をつくる	北海道の地質災害
	発表者	鈴木利典 株式会社 ベースプレーンワーク	廣瀬 巨 北海道立総合研究機構 地質研究所
③15:45 ～15:55	タイトル	自然体験を通して 保健・医療・福祉を改善する！？	ヒグマ調査会に参加して
	発表者	居崎時江 埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科	岸上夏樹 NPO 法人 C・C・C 富良野自然塾
④16:00 ～16:10	タイトル	子どもたちの遊びに今、 必要なもの	アウトドア業界の未来へ アウトドアユースウェーブ北海道からの提案
	発表者	小瀧 綾・池田貴彦 学校法人 リズム学園	山本 草 アウトドアユースウェーブ北海道
⑤16:15 ～16:25	タイトル	減災啓発活動としてのガイド実践 洞爺湖有珠火山マイスターとしての立場から	The NEAL 自然体験活動指導者資格
	発表者	江川理恵 洞爺湖有珠火山マイスターネットワーク	小林孝之助 全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会
⑥16:30 ～16:40	タイトル	アウトドアのテクニックで災害を生き抜こう！ 「防災サバイバルキャンプ」の実践から	観光だけで地域経済は起こせるか？
	発表者	臼井 平 札幌市青少年山の家	西内康弘 日高町役場
⑦16:45 ～16:55	タイトル	森で育つお母さん ～親も巻き込む自主保育～	「川で稼ぎませんか！」 かわたびほっかいどう
	発表者	松澤菜緒 森のようちえんといとい	天羽 淳 北海道開発局
⑧17:00 ～17:10	タイトル	世界のキャンプから-病気とたたかう子ども達のためのキャンプから見える可能性-	地域ミーティングの展開と可能性
	発表者	金子由佳 公益財団法人そらびちキッズキャンプ	北海道アウトドアフォーラム実行委員会

○展示（20団体 ※プレイホール・屋外）

※展示会場の開場時間は 29日 12:00～31日 13:00 です。空き時間に自由に見学できます。

※夜間は 22 時に施錠します。

① 展示ブース（11 団体）

タイトル	Phenix 快適なアウトドアライフをサポートする 最新マウンテンアクティブウェアの紹介	ココヘリ(山の守り神) 日本全国の山を対象 とした遭難発見システム 全国網のネットワークで 1 事案につき 3 フライトまで無料検索
出展団体	株式会社フェニックス	(株) アスティー
タイトル	LOGOS アウトドアギア展示	SOTOIKU 取扱い商品の紹介
出展団体	LOGOS (株式会社ロゴスコーポレーション)	SOTOIKU (合同会社 SOTOIKU)
タイトル	SUP スタンドアップパドルボード	水難現場における 水上オートバイの有効活用
出展団体	Hokkaido Great Adventure	一般社団法人 北海道ウォーターセーフティ協会
タイトル	川遊びへ出かけよう！ カヤックギアとラフティングギア	世界初 天空に浮かぶテント それは心躍る 大人の秘密基地！
出展団体	HOA 北海道アウトドアアドベンチャーズ	合同会社エアロスミス テントサイル東日本
タイトル	「トラディショナルカヌーの魅力」	国際交流の視点から、SGDs に取り組む
出展団体	支笏ガイドハウスかのあ	一般財団法人 北海道国際交流センター (HIF)
タイトル	北欧スウェーデン生まれのティピーテント テンティピー イベントシリーズ	
出展団体	DISCOVERIES	

② 展示ボード（9 団体）

タイトル	御礼！このフォーラムのおかげで繋がりました ＜幼児教育者×インタープリター×いきもの調査員＞の紹介	ネパールは、「主体的・対話的で深い学び」を応援します
出展団体	株式会社地域環境計画 はやきた子どもの遊び場づくりネットワーク NPO 法人共育フォーラム	北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課
タイトル	What are the SDGs ?	ネパール厚岸の施設設備と周辺のフィールド を活かした取り組みについて
出展団体	環境省 北海道環境パートナーシップオフィス	ネパール厚岸
タイトル	The NEAL 自然体験活動指導者資格	アウトドアチャレンジ・野外力検定制度
出展団体	全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会	アウトドアチャレンジ協議会
タイトル	CONE・もっと楽しい自然体験活動	
出展団体	NPO 法人自然体験活動推進協議会	NPO 法人登別自然活動支援組織 モモンガくらぶ
タイトル		
出展団体	西表島 KEN GUIDE	

選択ワークショップ一覧表

	I (30日 900~10:20)	II (30日 10:40~12:00)	III (30日 13:30~14:50)	IV (30日 15:10~16:30)	V (31日 9:20~10:40)
①	タイトル ～初心者からガイドまで日常活動に役立つスキル講座～ バドリングスキル入門編 岸 浩明 / 北海道グレートアドベンチャー (SUP) 松澤 直紀 / かのあ (カナディアソクヌー)	ハドリングスキルの基礎 地図読みの基礎 荒田 康仁 / outdoor & mountains guide TREE LIFE	サバイバル技術で野外を楽しむブッシュクラフト体験★ 紀園 聡 / ドリーム・ラヴァー株式会社 山口雅嗣 / 株式会社ルーツ・オブ・北海道 高藤弘樹 / 一般社団法人水難学会 北海道のアウトドア業界の未来へ ～「育ちたい」と「育てたい」のマッチング～ 鈴木 悠太・松澤 直紀 / アウトドアユースウェーブ北海道	ガイド講座：鳥が教えてくれること 鳥を通して伝えられること 福島 豪 BINOCOLO	
②	タイトル 旭山動物園が考える！ 身近な生き物を捉え直す 坂東 元・鈴木 悠太 旭川市旭山動物園 いま改めて、薪を作り、薪で食べる ①馬糞と薪作り★ ※教材費500円 上田 融・八木 一馬 苫東・和みの森運営協議会 写真のモヤモヤから抜け出すために -カメラ入門編- 佐藤 智亮 フリーランスフォトグラファー	アウトドアに関する 保険の基礎知識 町頭 隆児 有限会社オオフィステラ いま改めて、薪を作り、薪で食べる ②薪作りとBBQ★ ※教材費500円 上田 融・八木 一馬 苫東・和みの森運営協議会 災害時の備えを考えることで 思考停止状態に気づく★ 片山 誠・長江 孝 一般社団法人72時間サバイバル教育協会	アウトドアに関する 保険の基礎知識 町頭 隆児 有限会社オオフィステラ 弁護士ワークショップ ～アウトドア事業の関連法令～ 今野 佑一郎・福岡 宏保 NPOのための弁護士ネットワーク 災害時の備えを考えることで 思考停止状態に気づく★ 片山 誠・長江 孝 一般社団法人72時間サバイバル教育協会	アドベンチャーラベルと サステイナブルツアーリズム 荒井 一洋 北海道アドベンチャーラベル協議会 弁護士ワークショップ ～アウトドア事業の関連法令～ 今野 佑一郎・福岡 宏保 NPOのための弁護士ネットワーク レスキュー現場における 低体温症への対応 及川 欧 旭川医科大学病院	トドマツ林のキノコ 中嶋 深 (株) 東島リゾートサービス 自然情報室エコル グローイングアップワールド (パッケージプログラム) 体験★ 二杉 叶夢 二杉 寿志 / おたる自然の村公社 欧米最新の冒険旅行者に通用する Hokkaidoの伝え方 -HokkaidoWilds.orgを事例に- ロバート・トムソン HokkaidoWilds.org 北星学園大学 ガイドのための「働き方改革」 を考えよう！～この仕事を、 「仕事」とし続けるために～ 鈴木 利典 株式会社ベースブレーションワーク
③	タイトル クラフト+ パッケージプログラム体験★ 二杉 寿志 / おたる自然の村公社 多々見ゆりか / ネイバル深川	「地球の基礎」 地質や岩石について学ぼう 東 豊士 日高山脈博物館	個人とグループの成長を促す アドベンチャープログラム 鈴木 宏紀 自然考房 Nature Designing	「SDGsカードゲーム」と 「世界の食卓」から 地球のことを考えよう！★ 池田 誠 一般財団法人 北海道国際交流センター	学校が自然体験の扉を開くために ～ふるさと教育につながる自然体験とは～ 阿部 隆之 厚真町立厚真中学校
④	タイトル 自然体験活動指導者の 更なる活躍へ向けて 久保田 康雄・小林 孝之助 全国体験活動指導者認定委員会 自然体験活動部会	学校の自然体験サポートを もっと面白く 松原 昇平 NPO法人モモンガくらぶ	マイクロモンスターを採せ！★ 小林 有幹 / 然別湖ネイチャーセンター 高藤 彦馬 / 夏別湖ネイチャーガイド	札幌～樺丹～支笏湖 総営15年 自然を伝え・家族・仲間 ビジネスを成功させる秘訣	アウトドア×地方議員 もしあなたが政治の現場にいたら？ 瓜田 まゆみ 北海道議会
⑤	タイトル ファシリ テーター	ファシリ テーター	ファシリ テーター	ファシリ テーター	ファシリ テーター

※同内容で2回実施 (80分×2回)

※連続実施 (160分)

★ お子様同伴OK

○選択ワークショップ（160分×4タイトル）★マークは子ども同伴OK！

タイトル	パドリングスキル入門編 ～初心者からガイドまで日常活動に役立つスキル講座～	W I & II -①
ファシリテーター	岸 浩明 北海道グレートアドベンチャー（SUP） 松澤直紀 かのあ（カナディアンカヌー）	
内容	北海道の水辺での野外活動・体験観光等で役に立つパドリングスキルやそれに関わる基礎知識を身につけませんか？ 当プログラムではウォーターレジャー全般の導入を全体で行った後、SUP またはカヌーの実技を体験いただきます。 全くの未経験者から体験活動としてウォーターアクティビティに携わる方まで幅広い層でフィールドワークを行うプログラムとなります。	
備考	服装 ■濡れ・汚れの気にならない服装と靴 ■帽子 ■防寒着 ■かかとの固定できるサンダルまたは汚れの気にならない靴 持ち物 ■全身の着替え ■タオル	

タイトル	地図読みの基礎	W I & II -②
ファシリテーター	荒田康仁 outdoor & mountains guide TREE LIFE	
内容	地形図の読み方、使い方を座学・実践にて分かりやすく解説します。	
備考	コンパスをお持ちの方は持参してください。	

タイトル	サバイバル技術で野外を楽しむブッシュクラフト体験 ★	W III & IV -①
ファシリテーター	紀國 聡 ドリーム・ラヴァー 山口雅嗣 ルーツ・オブ・北海道 斎藤弘樹 水難学会	
内容	ブッシュクラフトという言葉は、ブッシュ（森での）＋クラフト（技能）という意味。最低限の道具と自分の技能で楽しむアウトドアスタイルをプチ体験しませんか。3人のファシリテーターが、焚き火、ロープ、シェルターなどのブッシュクラフト技術をご紹介します。	

タイトル	北海道におけるアウトドア業界の未来へ ～「育ちたい」と「育てたい」のマッチング～	W III & IV -②
ファシリテーター	鈴木悠太・松澤直紀 アウトドアユースウェーブ北海道	
内容	若手とベテランが、アウトドア業界の課題と可能性を共有し、北海道のアウトドア業界の発展のために、実現可能なアクションプランの作成を目指します。 室内でのグループワークです。	

○選択ワークショップ（80分×24タイトル） ★マークは子ども同伴OK！

タイトル	旭山動物園が考える！身近な生き物を捉え直す	WI-③
ファシリテーター	坂東 元・鈴木悠太 旭川市旭山動物園	
内容	最近ではニュースなどで見かけることの多いヒグマ、個体数が多くなりさまざまな対策がなされているエゾシカなど、身近な動物と人との関わりが大きく変革している時代にあります。 旭山動物園長坂東より動物たちの目線から人と自然との共存についての講義形式でお話するとともに、参加された方々それぞれのフィールドでの野生動物との実情を共有します。	

タイトル	いま、改めて、薪を作り、薪で食べる ★	WI-④
ファシリテーター	上田 融・八木一馬 苫東・和みの森運営協議会	WII-④
内容	みなさん、意外と薪を使った活動、やらなくなっちゃったんじゃないですか？ もう一度、原点に立ち返るべく、薪を使った活動をやりましょう。施設周辺の林を間伐します。そして、馬を使って丸太を引き出し、いろんな道具を使って薪作りをしましょう。そして、最後は美味しいものを焼いて食べましょう。簡単なBBQやスイーツを用意しています。	
備考	教材費500円かかります。 WI-④で馬搬と薪作り、WII-④で薪作りとBBQを行います。 川の対岸のからまつキャンプ場で実施します。（徒歩7分、車5分）	

タイトル	写真のモヤモヤから抜け出すために -カメラ入門編-	WI-⑤
ファシリテーター	佐藤智亮 フリーランスフォトグラファー	
内容	大自然での体験活動。いい写真が撮れたと思っても、見返してちょっと残念だったことはありませんか？ 自然体験活動で撮影する写真を“ちょっとした工夫”で印象よくするミニレクチャーを開催します。前半（座学）として、作例を使って陥りがちな失敗例や基本を紹介します。後半（実践）はスマホやコンパクトデジカメを機材として、実際に屋外で撮影し、撮影した写真を振り返ります。	
備考	スマホまたはコンパクトデジカメを持参してください。	

タイトル	クラフト+パッケージプログラム）体験 ★	WI-⑥
ファシリテーター	二杉 寿志 おたる自然の村公社 多々見ゆりか ネイバル深川	
内容	お土産にできるクラフト体験。作って完成させて終わりになってしまうことも多いですね。パッケージプログラムと組み合わせると「深く考えてほしい」「活動前の導入」などいろいろな使い方が出来ます。楽しく作品を作りながらどんなクラフトについて考えてみましょう。	

タイトル	自然体験活動指導者の更なる活躍へ向けて	WI-⑦
ファシリテーター	久保田康雄・小林孝之助 全国体験活動指導者認定委員会自然体験活動部会	
内容	自然体験活動指導者資格を取得した後、この資格をどのように活かせるかが、自然体験活動の普及促進における重要なポイントであると考えます。これは資格保持者自身が心がける部分と組織的に社会への発信や理解を求めていく部分があり、このワークショップにおいて、この資格制度の「社会的評価」を確実に高め活躍できる場面の拡張について研究します。	

タイトル	アウトドアに関する保険の基礎知識	WII-③
ファシリテーター	町頭隆児 有限会社オフィステラ	WIII-③
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傷害保険や賠償保険など、アウトドア事業に関する保険の概要</li> <li>・どんな場合に適用される／適用されないのか</li> <li>・補償金額の設定目安は</li> </ul> についてわかりやすく解説し、疑問に答えます。	

タイトル	災害時の備えを考えることで思考停止状態に気づく ★	WⅡ-⑤
ファシリテーター	片山 誠・長江 孝 一般社団法人72時間サバイバル教育協会	WⅢ-⑤
内 容	非常用持出袋に何を入れておくかを考えるワークショップを通じて、いかに私たちが普段から様々な情報に流されて思考停止になっているかを検証します。これまでに当団体で何度か行ってきた結果として、このワークショップを経験した後は、子どもたちが用意する非常用持出袋の中身が本当に役に立つものに変化しています。そしてこのような思考停止が、皆さんの活動の中でも起こっていないかを一緒に考え、少しでも子どもたちのために意味のある野外教育を提供していくには、どうしたら良いかディスカッションしたいと思います。	
備 考	希望者にはテキストを 1,500 円で販売します。	

タイトル	「地球の基礎」地質や岩石について学ぼう	WⅡ-⑥
ファシリテーター	東 豊土 日高山脈博物館	
内 容	ガイドや野外活動を行っていて、地質や岩石について詳しくなりたいと思ったことはありませんか？このワークショップでは、自然環境の基礎とも言える地質や岩石について学ぶとともに、実際にフィールドに出て代表的な岩石の観察や同定を行います。	

タイトル	学校の自然体験サポートをもっと面白く	WⅡ-⑦
ファシリテーター	松原昇平 NPO 法人モモンガくらぶ	
内 容	座学中心の情報交換ワークショップです。学習指導要領に基づいた自然体験プログラムを企画している方、これらに興味のある方向士で体験学習の指導法を踏まえたネタやアイデアを考え、共有します。	

タイトル	弁護士ワークショップ～アウトドア事業の関連法令～	WⅢ-④
ファシリテーター	今野佑一郎・福岡宏保 NPO のための弁護士ネットワーク	WⅣ-④
内 容	弁護士による『旅行業法及び道路運送法』などアウトドア事業関連法令の解説、ここまで問われる！？『キャンプツアー・スタディツアー実施中の事故予防と事故による責任』	

タイトル	個人とグループの成長を促すアドベンチャープログラム	WⅢ-⑥
ファシリテーター	鈴木宏紀 自然考房 Nature Designing	
内 容	プロジェクトアドベンチャー（PA）や ASE に代表されるアドベンチャープログラムは、全国でプロスポーツのチームビルディングや企業研修、学校の新入生オリエンテーションなどに活用されています。一方で、北海道にはファシリテーターが少なく、導入事例も少ないのが現状です。本ワークショップでは身近な道具でできるものから、エレメントと呼ばれる器材を使ったものまで、実際にいくつかのアクティビティを体験します。その効果を感じてもらい、皆さんの現場で少しでも活用してもらえれば嬉しいです。	
備 考	野外で活動できる服装、レインウェア持参 ※小雨程度であれば野外で実施します	

タイトル	マイクロモンスターを探せ！ ★	WⅢ-⑦
ファシリテーター	小林有幹 然別湖ネイチャーセンター 斎藤彦馬 更別村ネイチャーガイド	
内 容	一見何もないような 秋や冬の森に息づいている小さな命を探す。制限時間内に 100 種類の小さなマイクロモンスター（虫）を探してみる。	

タイトル	アドベンチャートラベルとサステイナブルツーリズム	WIV-③
ファシリテーター	荒井一洋 北海道アドベンチャートラベル協議会	
内容	北海道ではアドベンチャートラベルワールドサミット(国際大会)の誘致を考えています。また観光庁では持続可能な観光推進本部を設置し、サステイナブルツーリズムを推進しています。 そこで今回は、「アドベンチャートラベラーを対象とした事業のメリットとデメリット」や、「持続可能な観光の国際基準とその必要性」について話題提供をします。その上で「自分が世界のアドベンチャートラベラーを受け入れるには、何をしたらよいか?」「その事業を環境面や経済面において持続可能にするには、何をすべきか?」を考えます。今後の事業を一緒に作って行くきっかけになるワークショップです。	

タイトル	レスキュー現場における低体温症への対応	WIV-⑤
ファシリテーター	及川 欧 旭川医科大学病院 一般社団法人 北海道ウォーターセーフティ協会	
内容	冬の野外活動で最も重大なリスクのひとつ「低体温症」 様々なレスキュー現場での経験から見た、低体温症の症例と対応について講義形式で紹介します。	

タイトル	「SDGs カードゲーム」と「世界の食卓」から地球のことを考えよう! ★	WIV-⑥
ファシリテーター	池田 誠 一般財団法人 北海道国際交流センター	
内容	SDGs カードゲーム「THE SDGs アクションカードゲーム X」と「世界の食卓」から地球のことを考えるワークショップ	

タイトル	札幌～積丹～支笏湖 経営 15 年 拠点をもちつつ毎年スタッフが集まる・自然を伝え・家族・仲間・ビジネスを成功させる秘訣。	WIV-⑦
ファシリテーター	板谷貴文 (株)オーシャンデイズ	
内容	沖縄 7 年を経て、経営 15 年個人事業～株式・合同会社の経営の仕組み・人材育成・お金の概念・お金の投資の仕方、座学中心です。	

タイトル	ガイド講座：鳥が教えてくれること、鳥を通して伝えられること	WV-①
ファシリテーター	福島 豪 BINOCOLO	
内容	鳥の声や姿だけでなく、痕跡や死体から学ぶことや伝えられることを学ぶ。またガイドどうしのコミュニケーションツールとしての役割を考えてみる。 ※座学中心のワークショップです。	

タイトル	トドマツ林のキノコ	WV-②
ファシリテーター	中嶋 潔 (株)東急リゾートサービス 自然情報室エコル	
内容	前半の 40 分で「キノコと森の関係」「なぜトドマツ林か?」についての座学を行い、後半は天候等可能であれば野外に出て、実際にトドマツ林でキノコを探してみたいと思います。	

タイトル	グローイングアップワイルド(パッケージプログラム)体験 ★	WV-③
ファシリテーター	二杉叶夢 二杉寿志 おたる自然の村公社	
内容	さまざまな依頼やプログラムの作成、アイデアや実施したい体験など、活動しているみなさん。また、これからいろいろはじめるみなさん。「まずはやってみよう」「深く考えてほしい」「活動前の導入」「企画書の作成」いろいろな使い方が出来るパッケージプログラムちょっと知ってみませんか?毎年行っているので今年はその中のグローイングアップワイルドに絞って体験しながらパッケージプログラムの使い方を考えて見ましょう。	
備考	野外での活動もあります。	

タイトル	欧米豪新の冒険旅行者に通用する Hokkaido の伝え方 ーHokkaidoWilds.org を事例にー	WV-④
ファシリテーター	ロバート・トムソン HokkaidoWilds.org / 北星学園大学	
内容	海外では北海道の山スキーをはじめ、自転車ツーリング、登山などのアウトドアに対する認知度は急に増えている。こうした認知を最大に活かすために、本ワークショップでは、デジタルメディアを利用したプロモーションや安全管理などを、北海道のアウトドアを英語で紹介する HokkaidoWilds.org を事例に講義やディスカッションで考えていく。	

タイトル	ガイドのための「働き方改革」を考えよう！ ～この仕事を、「仕事」とし続けるために～	WV-⑤
ファシリテーター	鈴木利典 株式会社ベースプレーンワーク	
内容	あなたのガイドは「仕事」ですか？ 世の中で聞かれる「働き方改革」という言葉は、ガイドの皆さんにも決して他人事ではないはず。このワークショップでは、ガイドの働き方と諸事情を改めて振り返り、アウトドアガイドというお仕事が将来に続いてくために大事なこと・必要なことを、参加者みんなで考えてみます。	

タイトル	学校が自然体験の扉を開くために ～ふるさと教育につながる自然体験とは～	WV-⑥
ファシリテーター	阿部隆之 厚真町立厚真中学校	
内容	学校と自然体験をつなげるためのアイデアづくり ・学習指導要領等で学校における自然体験の重要性や社会に開かれた教育課程の必要性が示されている中、北海道内における取組状況を確認します。 ・近年注目されているふるさと教育を例にとり、教職員の関心や意欲を高め、学校で活用できる自然体験プログラムの在り方を探ります。	

タイトル	アウトドア×地方議員 もし、あなたが、政治の現場にいたら？	WV-⑦
ファシリテーター	広田まゆみ 北海道議会	
内容	昨年のアウトドアフォーラムでアウトドア人材の育成や、アウトドア事業推進のために、アウトドア議員連盟の設立を展望しました。今回は、まず、実際にアウトドア事業の現場を経験して、政治の現場にいる人の話を聞きます。さらに、アウトドア事業推進のための政策課題の洗い出しを行います。 最初の一歩です。お気軽にご参加ください。	

### **参加申込み・ワークショップ選択希望**

選択ワークショップについては、参加申込と同時に選択希望を受け付け、定員に達した内容から締め切ります。7 ページ以降の発表要旨をお読みにになり、ウェブサイトの申込フォームにて選択してください。※160分のワークショップについては、必ず2枠続けて選択してください。

**参加申込・選択期限 10/25 (金) まで**

URL : <https://www.niye.go.jp/entry/app/event/apply/2538/>

※ 期限を過ぎると申込フォームからは選択できません。

※ 期限以降のワークショップの選択は、空き状況に応じて当日受け付けます。

## お子様同伴での参加について

「お子様連れの方にも気兼ねなく参加してほしい」「小さな子どもでも楽しめるプログラムを伝えたい」という実行委員の想いからフォーラム期間中、森の家をキッズスペースとして開放します。  
(託児はありません)

一部のワークショップ(★マーク)はお子様連れでもご参加いただけます。

また、お部屋について、ご家族での宿泊を希望される場合、家族部屋をご用意しますので、申込時の特記事項にてお知らせいただくか、事務局までご連絡ください。

## 宿泊部屋について

本フォーラムでは、参加者間の交流が大きな目的の一つですので、立場・年齢にかかわらず、相部屋での宿泊が基本となります。

ただし、持病がある、他の参加者に迷惑をかけたくない、などの事情をお持ちの方は、申込み時に特記事項に記載いただくか、事務局までご相談ください。

## 領収書の取扱について

本フォーラムの領収書の宛名についてはお申込みいただいた個人名で発行しております。

宛名の変更、同団体複数人一括の領収書、などの領収書の発行を希望される方は申込時に特記事項に記載いただくか、必ず事前にご連絡ください。※受付時の混雑を避けるためご協力ください。

## Q&A

よくある質問をまとめましたので、ご参照ください。

Q. 日帰りでの参加や部分参加は可能ですか？

A. 日帰りでの参加は可能です。申込み時に参加日程を選択してください。情報交換会のみ、ひとつのワークショップのみといった部分参加は基本的にお断りしています。特別な事情がある場合、事務局にお問合せください。

Q. 前泊の際、夕食・朝食の注文は可能ですか？

A. 食堂が休みのため、各自でご用意していただくか、町内の飲食店等で食べていただくようお願いいたします。所内ラウンジおよび宿泊棟での飲食は可能です。

Q. 車いすでの参加は可能ですか？

A. 可能です。バリアフリーの宿泊室(浴室・トイレ付)をご案内しますので、申込時に特記事項にてお知らせいただくか、事務局までご連絡ください。野外でのワークショップを希望される場合、詳細について事前にご相談ください。

Q. 食物アレルギーの対応を教えてください。

A. アレルギー品目の種類や程度によって、①自己除去、②代替食提供、③食事持参のいずれかの対応になります。②については事前に栄養士との相談が必要ですので、申込時に特記事項にてお知らせいただくか、事務局までご連絡ください。

その他お問合せはこちらまで

電話：01457-6-2311 メール：[hidaka-hp@niye.go.jp](mailto:hidaka-hp@niye.go.jp) (担当：横山、谷崎、花岡)

## 事務局より

本フォーラムについての最新情報は、facebook ページに随時アップしています。アカウントをお持ちの方は、「いいね！」およびシェアをお願いします。 URL：[www.facebook.com/h.o.forum](https://www.facebook.com/h.o.forum)

それでは当日、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

北海道アウトドアフォーラム 2019 事務局

＜遅刻・欠席等のご連絡、お問合せ先＞

国立日高青少年自然の家(担当：横山宏、谷崎、花岡)

電話：01457-6-2311 メール：[hidaka-hp@niye.go.jp](mailto:hidaka-hp@niye.go.jp)